

令和3年度 第2回 東御市文化財保護審議会 次第

日時 令和4年3月23日(水)午後2時～

場所 中央公民館 1階 学習室4

1 開 会

2 あいさつ

3 審 議

(1) 力士雷電之碑 一部移設について

4 報 告

(1) 百体観音石造町石 28番観音転倒について

(2) カモシカの滅失届について

5 閉 会

別添資料

3 審 議

(1) 力士雷電之碑 一部移設について

旧北國街道沿いにある力士雷電之碑2基のうち、旧碑を力士雷電生家敷地内に移設する要望がある。

4 報 告

(1) 百体観音石造町石 28番観音転倒について

3月14日に湯の丸から下る途中で28番観音像の転倒を発見したとの連絡があり、所有者に連絡した。3月15日に修理したと電話連絡を受けた。

(2) カモシカの滅失届について

3頭の滅失届をした。

- ・和地区西入 雌 7歳位 発見者所有地に埋設処理してもらった。
- ・北御牧地区畔田 オス 4歳位 カラス捕獲檻内カラスの餌置場に廃棄処理した。
- ・北御牧地区御牧原 雌 4～5歳位 カラス捕獲檻内カラスの餌置場に廃棄処理した。

3

(1) 力士雷電之碑 一部移設について



①



②

滋野駅方面から牧家交差点方面を望む



③



④



⑤



⑥

移設先(予定)



令和4年1月28日

東御市長 花岡 利夫 様

大石区

区 長 長岡 政直
雷電生家管理委員会
会 長 関 文彦

「力士雷電之碑」の移設について（依頼）

寒冷の候、貴職におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと推察いたします。

また、住民自治や協働による地域づくりに関して、ご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、新年早々、長野県出身の御嶽海関の一月場所優勝から大関昇進という長野県民にとって、コロナ禍の暗い話題が続く中で、大変喜ばしいニュースが届きました。新聞紙面やインターネットでは、「信州出身力士の大関誕生は雷電以来227年ぶり」との言葉が飛び交い、地元にもお問い合わせや温かなメッセージが続々と届き、注目の大きさを直に感じるとともに、改めて、雷電は東御市の誇りであり、宝であると認識しています。

つきましては、『天下無双・力士雷電』の偉業を生誕の地である東御市から市内外に向けて広く発信をすることで、伝説を後世にまで繋いでいくチャンスであると捉え、こうした取り組みの拠点とすべく、江戸時代に郷土の英雄「雷電」を愛し、讃えるため建立された佐久間象山先生・書「力士雷電之碑」を雷電生家へ移設することを依頼いたします。

市におかれましては、コロナ対策に日々尽力され、人的・財政的に厳しい折とは存じますが、何卒ご検討下さりますようお願いいたします。

雷電生家管理委員会
会 長 関 文彦
電話 :

(1) 百体観音石造町石 28番観音転倒について
28番観音像 転倒 令和4年3月14日



← 転倒の様子

頭の部分 擦り傷
↓



← 手の部分 擦り傷



修理後全形



← 光背部分 接着

土台部分 接着
↓

